

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成20年度 技術情報第13号(イチゴのハダニ類)について (送付)

イチゴのハダニ類について情報を取りまとめましたので送付します。

平成20年度 技術情報第13号

育苗ほでは、ハダニ類が多く発生しています。本ほへ持ち込まないように、定植前までに防除を徹底してください。

- 1 対象作物 イチゴ
- 2 対象病害虫 ハダニ類
- 3 予報内容
 - (1) 発生地域 県本土
 - (2) 発生量 やや多

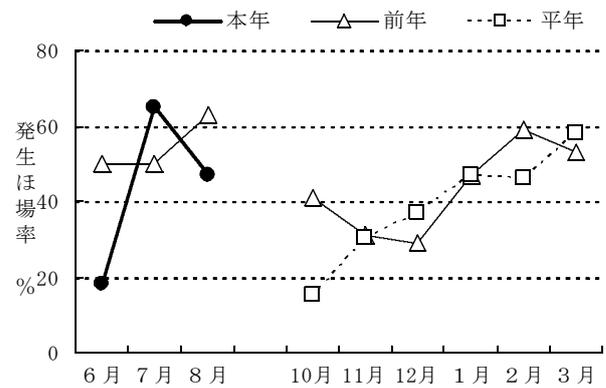


図1 ハダニ類の発生推移 (イチゴ)

4 予報の根拠

- (1) 育苗ほでの発生ほ場率が、7月以降前年同様に高く推移している (図1)。

8月中旬の調査では、甚発生または多発生ほ場が認められた (表1)。

- (2) 向こう1か月の気温は、高いと予報されており、発生しやすい条件が続くと予想される。

表1 ハダニ類の発生状況

調査場所	調査ほ場数	発生ほ場数	内甚発生または多発生ほ場数
日置市伊集院町中川	5	2	1
さつま町湯田・平川	5	3	1
志布志市有明町野神	7	3	0
合計	17	8(47%)	2(12%)

8月中旬調査

5 防除上注意すべき事項

- (1) 雨よけをしている育苗ほでは発生しやすいので注意する。
- (2) 寄生葉は、ほ場外に持ち出して処分する。
- (3) 本ほへの持ち込みを避けるために、育苗後期には必ず防除する。防除効果を高めるため、薬剤は下葉かきを行ってから葉裏にかかるよう散布する。
- (4) ほ場によって薬剤の効果が異なるので (平成19年8月31日付け技術情報第8号参照)、散布後は必ず防除効果を確認する。なお、ナミハダニが多く発生しており、本虫はカンザワハダニに比べて気づきにくいので、葉裏を注意深く観察する。
- (5) 天敵を導入する予定のほ場では、天敵放飼前にハダニ類の密度を抑えることが重要であるため、育苗ほでの防除を徹底する。
- (6) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる薬剤とのローテーション散布に努める。